



まちがど トピックス



■アクアパークきらめきは、子どもたちの笑顔でいっぱい

4年ぶりにリニューアルオープンした、市民プール「アクアパークきらめき」は、子どもたちの笑顔であふれています。7月9日、喜志幼稚園の園児らが利用し、幼児用すべり台や、とっぴーが描かれた大きなバケツから滝のように水が流れ落ちるアトラクションに、大きな歓声を上げていました。同プールは、8月31日(月)までオープンしています。ぜひ、ご来場ください。

※利用料金（2時間）は、大人（高校生以上）200円、小・中学生100円、幼児（小学生未満）無料。



■七夕の笹飾りに願いを込めて

7月1日、児童館で、小学生事業に参加する子どもたちが七夕を前に笹飾りを作りました。

五色の短冊にそれぞれの願いを書き、折り紙で作った織り姫とひこ星や網飾りなどと笹に飾り付けていきました。

「サッカーワールドカップに出てゴールを決める」や「ケーキ屋さんになる」、「プロ野球選手になる」など、それぞれの夢を短冊に託していました。

■みんなで一緒に河内音頭

7月2日、すばるホールで、河内音頭講習会が開催されました。

これは河内音頭の普及活動に努めている「河内音頭保存会」が毎年開催しているもの。

講習会は3日間あり、同会の会員の皆さんの指導の下、参加者は一緒に踊りながら実践的に河内音頭を覚えていきます。この日は約70人が参加し、皆さん楽しそうに練習していました。



写真とともに見る6月～7月のできごと



■夏の日差しを浴びて

7月15日、農業公園サバーファームのお花畑では、ヒマワリ、ジニア、マリーゴールドなどの花々が見ごろとなり、来園者を迎えていました。夏の日差しをいっぱい浴びて、咲き誇る色とりどりの花を見ていると夏の暑さに負けない元気を分けてもらえるようでした。

また、サバーファームのブドウ園では、9月下旬までブドウ狩りも楽しめますので、ご家族そろって、ご来園ください(関連記事29ページ)。

■体育指導で子どもたちの支えに

6月25日、青年海外協力隊員としてスリランカに派遣される川口 純平さん(金剛伏山台)が市役所を表敬訪問しました。

川口さんは、「小さい頃からサッカーで多くの人に支えられてきたので、今度はスリランカの子どもたちを自分が支えたい」と話されました。

多田市長は「人生にとって非常に大きな経験をされます。自炊中心で大変ですが、体に気を付けて頑張ってください」と激励しました。



■文化芸術振興の大きな力

7月14日、今年4月に(公財)富田林市文化振興事業団と文化芸術振興パートナーシップ協定を締結した、「Osaka Shion Wind Orchestra(旧大阪市音楽団)」の理事長らお二人が、市役所を訪れました。今後、市立小学校を対象とした音楽鑑賞会や市立中学校吹奏楽部への指導、すばるホールでの演奏会などを予定しており、本市文化芸術の振興・発展の大きな力になることが期待されます。

■今、世界が注目する浄化槽事業

6月30日、JICA(国際協力機構)による研修の一環として、アフリカやアジア諸国の政府関係者をはじめとする研修生が本市の浄化槽事業を視察に訪れました。本市の浄化槽事業は、民間の事業者が営業活動から設置・管理までを実施するPFI方式を取り入れていることから注目を集めています。研修生は、浄化槽を見学するとともに、本市浄化槽事業における行政と企業の責任分担などについて学んでいました。

